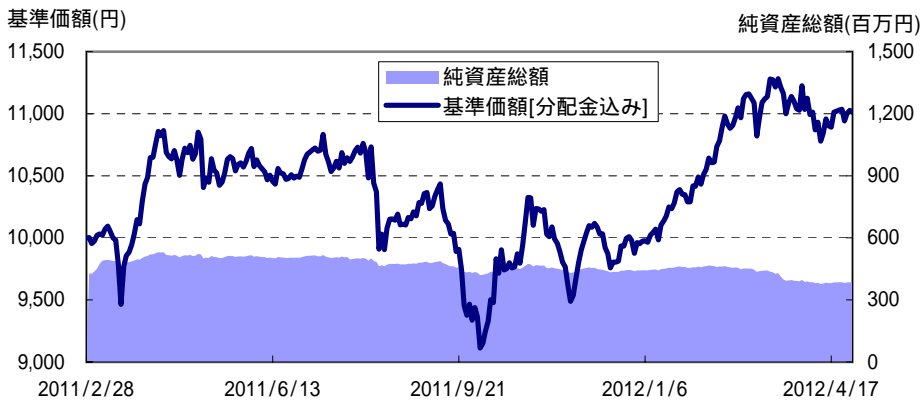


**DIAMオーストラリア・ボンド・プラス120**  
 追加型投信 / 海外 / 資産複合  
 月次運用レポート (2012年5月)

**運用実績の推移**



(設定日:2011年3月1日)  
 基準価額[分配金込み]は税引前の分配金を加算したものと表示していますので、実際の基準価額と異なることがあります。  
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は、純資産総額に対し年率1.4175%(税抜1.35%)です。

**基準価額・純資産総額**

基準価額	11,012 円
解約価額	10,957 円
純資産総額	385 百万円
設定日	2011年3月1日
決算日	原則 10月21日
信託期間	2017年10月23日まで

**ポートフォリオ構成**

外国株式	16.6%
外国債券	81.5%
現金等	1.9%
合計	100.0%

**分配金実績 (税引前)**

直近3年分

第1期 (2011.10.21)	分配金	0 円
	累計分配金	0 円

- 1 分配金は1万円当たり。
- 2 分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

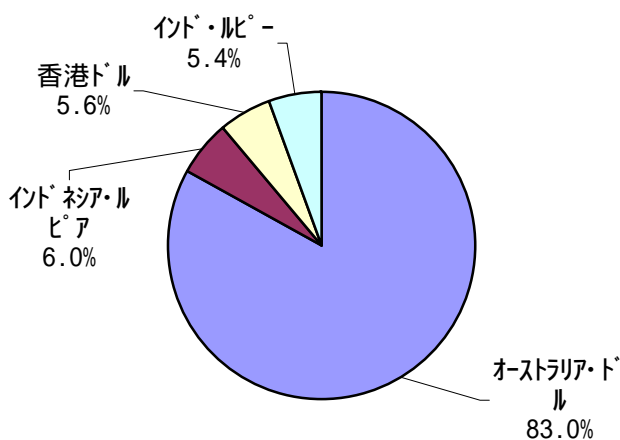
- 1 比率は純資産総額に対する割合です。
- 2 株式には新株予約権証券を含む場合があります。

**騰落率**

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	設定来 (2011/03/01)
当ファンド	-0.15%	7.03%	6.65%	1.47%	10.12%

当ファンドの騰落率は税引前の分配金を加算したものと表示しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。

**通貨別組入比率**



比率は当ファンドが実質的に投資している有価証券評価額に対する割合です。

**債券ポートフォリオの状況**

平均複利利回り	4.09%
平均クーポン	6.00%
平均残存期間	5.38
修正デュレーション	4.59

組入債券評価額を基に計算しています。

当資料は3枚ものです。  
 P.3の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAMアセットマネジメント**



**DIAMオーストラリア・ボンド・プラス120**  
 追加型投信 / 海外 / 資産複合  
 月次運用レポート (2012年5月)

**組入上位10銘柄**

No	銘柄	国名	通貨	業種	比率(%)
1	SEMEN GRESIK PERSERO TBK PT	インドネシア	インドネシアルピア	建設資材	3.86
2	SAMPOERNA AGRO PT	インドネシア	インドネシアルピア	食品	3.68
3	PT ASTRA INTERNATIONAL TBK	インドネシア	インドネシアルピア	自動車	3.44
4	BANK MANDIRI	インドネシア	インドネシアルピア	商業銀行	3.40
5	PERUSAHAAN PERKEBUNAN LONDON SUMATRA INDONESIA TBK PT	インドネシア	インドネシアルピア	食品	3.13
6	ASTRA AGRO LESTARI TBK PT	インドネシア	インドネシアルピア	食品	3.10
7	TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	香港ドル	インターネットソフトウェア・サービス	3.05
8	TATA MOTORS LTD	インド	インドルピー	自動車	2.99
9	ALAM SUTERA REALTY TBK PT	インドネシア	インドネシアルピア	不動産管理・開発	2.98
10	CNOOC LTD	香港	香港ドル	石油・ガス・消耗燃料	2.93

1 中国・インド・インドネシア株式マザーファンドの組入上位10銘柄です。

(組入銘柄数:48銘柄)

2 比率は中国・インド・インドネシア株式マザーファンドの組入有価証券評価額に対する割合です。

**ファンドマネジャーから皆様へ**

オーストラリアでは、雇用者数が大幅に増加したものの住宅関連などの経済指標に勢いが見られず、インフレ率は中央銀行が目標とする範囲の下限近くに低下しました。中央銀行はインフレ動向を確認した上で利下げの是非を検討する姿勢を示していたため、利下げ観測が一段と強まり、為替市場ではオーストラリアドルが円に対して下落(円高・現地通貨安)しました。

中国株式市場では、H株指数は前月末比+2.49%となりました。企業の決算発表が3月中にほとんど終了していたこともあり、4月は相場を大きく動かす材料はあまり見られませんでした。外部環境に目を向けると、欧州では債務危機が依然としてくすぶっていた中、スペインの株式市場が大きく下落するなど不安定な状況が続きました。また中国においても、重慶市のトップを解任された薄氏の不正疑惑が親族に広がりを見せるなど、投資家の間で中国の政治リスクが再認識される形となりました。

インド株式市場では、SENSEX指数は前月末比 1.55%となりました。インド準備銀行が政策金利のレポレートについて市場予想を上回る0.50%の引き下げを発表したことを受けて、銀行株を中心に買われる局面もありましたが、その後は燃料価格の引き上げによるインフレ加速への懸念が高まったことや、米格付会社のS&Pが巨額の財政赤字や財政健全化の遅れを理由に、インドの格付見通しを「安定的」から「ネガティブ」へ変更したことを受けて、売り圧力の強い展開となりました。

インドネシア株式市場では、JCI指数は前月末比+1.03%となりました。インフレの高進を招くと懸念された燃料価格の引き上げが見送られたことや3月のCPI(消費者物価指数)が引き続き4%を下回ったことを受けて月初から堅調な展開となりましたが、その後は政府が石炭と主要金属の輸出に対して新たに課税する計画を明らかにしたことや外資の銀行株保有に対して制限が設けられるとの思惑から利益確定の売りに押されました。

オーストラリアでは、資源産業の好況が続いているものの、住宅をはじめとする家計部門に鈍化の兆しが広がっているため、中央銀行は金融緩和により景気を支援する姿勢を強めると考えられます。オーストラリアドルは、先進国の中で相対的に健全な財政などを背景に資金の流入が続いていますが、利下げ予想が根強く見られるため、短期的に通貨安となる可能性があると考えています。クイーンズランド州政府財務公社の2017年償還の債券の保有を継続する方針です。

株式では、スペイン・イタリアを中心に欧州の債務問題に対する懸念が再燃していることや米国の景気回復期待に陰りが見えはじめたことなどの外部環境には注視が必要となります。一方でアジア域内を見ると、多くの国で消費者物価指数の伸び率が2011年をピークに低下傾向となってきており、インフレは落ち着いた水準にとどまっています。内需関連を中心に概ね良好な企業業績や割安なバリュエーションといった支援材料もあり、当面底堅い動きが見込まれます。このような環境下、アジア域内ではこれまで出遅れてきた中国が相対的にアウトパフォームする展開を予想しています。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は3枚ものです。

P.3の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



**DIAMオーストラリア・ボンド・プラス120**  
追加型投信 / 海外 / 資産複合  
月次運用レポート (2012年5月)

**当ファンドの特色**

主として、オーストラリアドル建てのソブリン債券および中国、インド、インドネシアの株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

株式等への投資は中国・インド・インドネシア株式マザーファンドを通じて行います。

設定当初の債券と株式等への投資比率は、概ね8:2程度とします。

株式等の銘柄選定にあたってはDIAM Asset Management (HK) Limited およびDIAM SINGAPORE PTE. LTD.の投資助言も活用します。

外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。

基準価額(1万口当たり。既払分配金を加算しません。)が一度でも12,000円を超えた場合、上記にかかわらず、わが国の債券等の安定資産による運用に順次切り替えを行い、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。

・流動性等により保有銘柄の売却が速やかに行えない場合や、株式の権利関係等の処理に時間を要する場合等があるため、基準価額が12,000円を超えてから繰上償還が行われるまで日数がかかる場合があります。

・基準価額が12,000円を超えてから償還までの市況動向等により、基準価額もしくは償還価額が12,000円以下となることがあります。

・上記基準価額水準は、安定運用に移行する水準であり、当ファンドの基準価額が12,000円を超えることを示唆または保証するものではありません。

・基準価額が12,000円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還を行いません。

当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行われないことがあります。

**投資信託ご購入の注意**

投資信託は、

預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

**当資料のお取扱いについてのご注意**

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。

当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

投資信託は、実質的に債券、株式等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を加算したものである基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。

当資料における内容は作成時点(2012年5月11日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

**販売会社**

印は協会への加入を意味します。

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第43号				
株式会社北越銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第48号				

当資料は3枚ものです。

設定・運用は

**DIAMアセットマネジメント**

